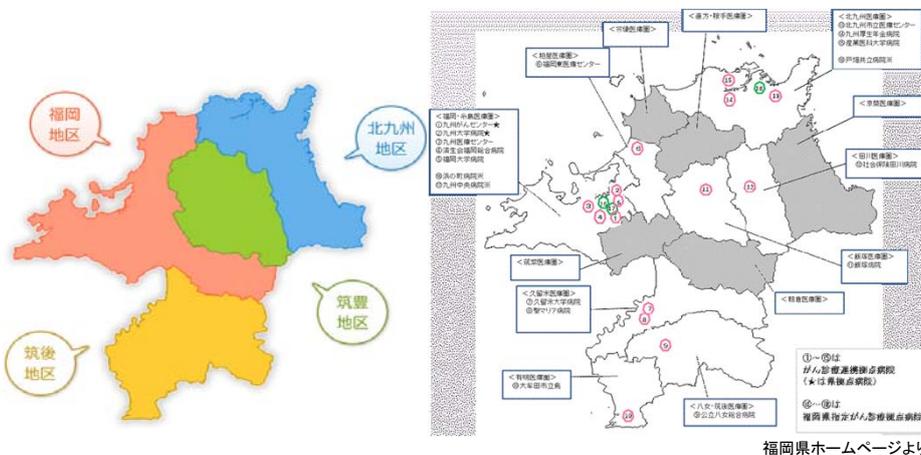




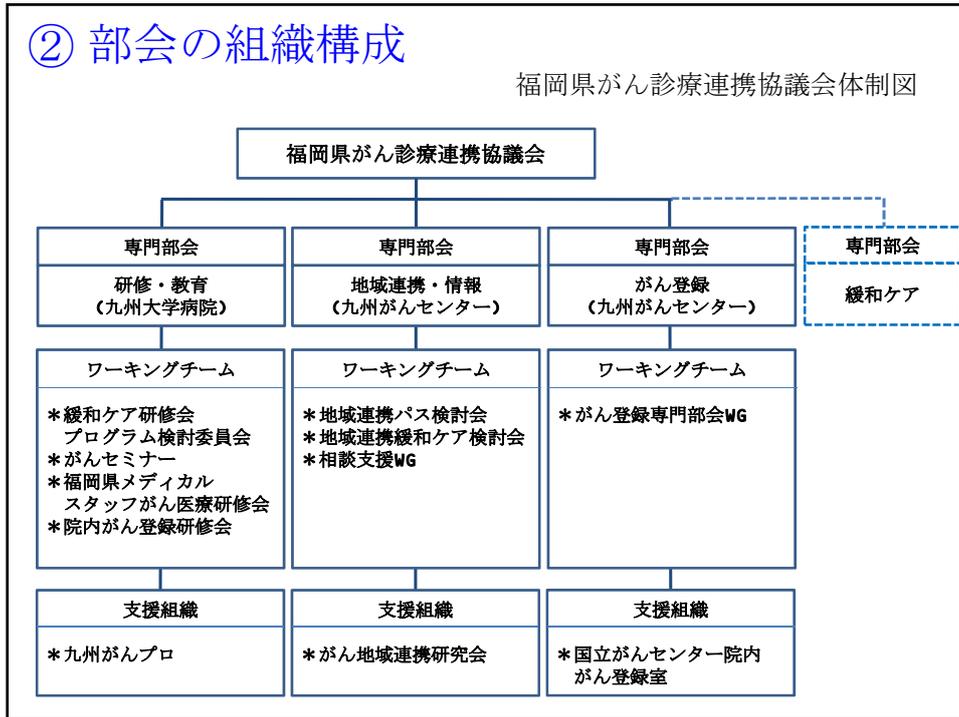
### ① 地域の特性・地図

- \*昭和52年以降、がんによる死亡率が第1位である。(平成25年死亡数 36万4,872人)
- \*県内に、13の2次医療圏があり、がん診療連携拠点病院を有しない医療圏は5か所。
- \*病院(全国4位)、一般診療所(全国6位)の設置数は、全国平均より多く、大学病院をはじめとしがん治療を実施している医療機関は多数あるが、地域偏差がみられ、医療資源が都市部へ集中している。
- \*緩和ケア病棟を有している医療機関は33施設(631床)で、全国的にも病床数が多い。



## ② 部会の組織構成

福岡県がん診療連携協議会体制図



## ③ 行政との連携

- 福岡県がん専門相談員連絡協議会や研修会に、参加・協力してもらっている
- 福岡県がん専門相談員連絡協議会や研修会時に、県のがん対策に関する情報提供を行ってもらったり、県企画の研修会で広報の場を設けてもらっている
- 福岡ブロックの研修、H27年度は協同で研修会を企画する予定



### 2. がんに関する相談支援及び情報提供体制の整備 【到達目標】

	計画策定時 平成24年度	現状 平成26年度	目標 平成29年度	進捗状況の 評価
がん相談支援センター相談員 指導者研修総修了者数(県内)	9人	12人 (15人)	18人以上	進展している
がん相談支援センターにおける 基礎研修会全過程修了者2名以上の 配置	13/18	18/18	18/18	目標達成
拠点病院のがん相談支援センタ ーでの相談件数合計(2か月間)	3,565件	3,869件	5,000件以上	進展している

#### 【具体的な取り組み】

- ◆行政
  - 県は、拠点病院におけるがん相談支援体制の充実支援および広報などの周知を行う。
  - 県は、国立がん研究センターが実施するがん相談支援センター相談員研修への受講を促進する。
  - 県は、がん患者・体験者やボランティアとの連携を推進する。
  - 県は、ピアサポート研修会に対し、講師を派遣する等協力する。
  - 県は、ホームページ等を活用し、高額医療費等の社会資源の周知を図る。
- ◆医療機関
  - 拠点病院等は、がん相談支援センターにおける情報提供体制の充実を図り、生活の質の充実を視野に入れた活動を行う。
  - 拠点病院等は、自施設のがん診療の実施状況等についてホームページに掲載し、地域医療機関の情報収集を行い提供する。
  - 拠点病院を中心とした、地域での相談員研修会を開催する。
  - 拠点病院はがん相談支援センターとピアサポート、がんサロンの相互理解を深め、より良い活動の構築に努める。
  - がん相談支援センターの相談員は、相談員研修を受講する等、相談支援の質の向上に努める。
- ◆関係団体
  - 医療相談窓口を設置し、相談に対応する。
  - 関係団体と医療機関とが協力し、ピアサポート研修会等を開催し、ピアサポーターの知識等の向上を図る。
- ◆県民
  - がん相談支援センターの役割を理解し活用する。

## ④ 相談支援の広報活動

「がん相談支援センターを地域の支援の輪につなげる新企画」



## ⑤ 相談支援の取り組み状況

H26年度までの取り組み

地域性を加味した相談員のニーズを考える

拠点病院：県(2)、地域(13)、県指定(3)

<p>【福岡地区】拠点病院数 8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点病院間の定期会合なし</li> <li>・福岡市内に拠点病院以外でがん診療を行っている病院が多数存在している</li> <li>・緩和ケア病院のネットワークがある</li> <li>・拠点病院以外でがん相談を受けているスタッフとの交流の場がない</li> </ul>	<p>【北九州地区】拠点病院数 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点病院間の定期会合を行なっている</li> <li>・拠点病院以外でがん相談を受けているスタッフとの交流の場がない</li> <li>・北九州市内以外の北九州地区の範囲が広い</li> </ul>
<p>【筑後地区】拠点病院数 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点病院間の定期会合を行なっている</li> <li>・患者サロンを共同で運営している</li> <li>・サロン後に現況報告などを行っている</li> </ul>	<p>【筑豊地区】拠点病院数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点病院間の定期会合なし</li> <li>・拠点病院以外でがん相談を受けているスタッフとの交流の場がない</li> <li>・北九州地区と隣接ではある</li> </ul>

### H24年～H26年までの主な活動

- ・がん診療連携拠点病院がん相談支援センター相談員連絡会議 年2回
- ・指導者研修を終了したコアメンバーでの企画会議
- ・研修会
- H25年 2月 第1回相談員研修会(乳がん)、7月 第2回相談員研修会(肝臓がん・肺がん)
- H26年 2月 地域相談支援フォーラム in 福岡、3月 第3回相談員研修会(大腸がん・胃がん)

### ⑤ 相談支援の取り組み状況 H26年度からの新たな取り組み

**A研修**：拠点病院のがん相談員向け研修  
対象：がん相談員

【課題】・相談員のスキルアップ  
・地域への貢献

がん相談員対象研修（がん診療連携拠点病院）

学習目標

- ◆面接技法を、ロールプレイなどを通じて学び、相談員のスキルアップを目指す。（複数年で計画）
- ◆相互に各ブロックでの研修会の企画・運営について意見交換を行うことで、ファシリテーション・企画運営力を養う。

**B研修**：各ブロックでの研修  
対象：連携業務を行っているMSW・Ns

【課題】・地域連携・・・情報共有  
・がん相談の質向上

連携業務担当者研修（各ブロックごと）

学習目標

- ◆事例検討会を通して、疾患や対象の理解、他職種の視点を学ぶことで、今後の相談業務に活かすことができる。
- ◆地域の医療機関の相談員の連携を図る。

研修評価：単年度ごとにアンケート実施

**H26年度 第1回福岡県がん診療連携拠点病院がん相談員(A)研修会**（行政と共同の形で開催）  
6月28日（土）10:00～12:30 「コミュニケーション」について 41名参加

### 今後の年間計画 (H27.1.7現在)

		H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H28	H28	H28
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域連携・情報専門部会 (九州がんセンター)		● 19日														
診療連携拠点病院協議会 (病院幹部)			● 16日													
福岡県地域連携の会(未定) (福岡県医師会館)																
相談員連絡会議 (県庁OR合同庁舎)				● 20日 予定												●
福岡県A研修 (福岡東医療センター)							●									
福岡県 B 研 修	北九州 ブロック		● 地域													
	筑豊 ブロック			● 地域												
	福岡 ブロック										● 地域					
	筑後 ブロック												● 拠点病院			
九州沖縄フォーラム			● 1/31～2/1 (長崎)											● 11/28OR 12/5 (鹿児島)		
支援センター周知活動							● 3～4日 博多どんたく港まつり									